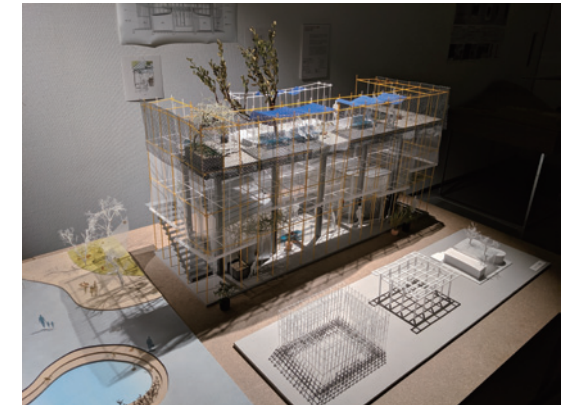


SD レビュー 2019

第 38 回 建築・環境・インテリアのドローイングと模型の入選展 入選作品

かぎりなく 本設にちかい仮設…

ユニオン設計 + 浅野・出江建築事務所



ヒルサイドテラス F棟
展示の様子

建物用途：テイクアウトカフェ（厨房 / カウンター / 倉庫）
テーマ：ふれあいエンターテイメント+α
要求機能：敷地内・建物に動物展示（ふくろう / マーラ / 小型さる など）
2階のオープンテラス
周辺の樹木利用
遊具との融合
イメージ：ピクニックリゾート
緑豊かな場所
その他：将来的にふれあいゾーンのフェンスを撤去
水路の増設を検討中
10年の事業計画。約10年で撤去

SD レビュー 2019 とは実際に「建てる」という厳しい現実の中で、設計者がひとつの明確なコンセプトを導き出す思考の過程をドローイングと模型に示す展覧会です。SD レビューの歴史を彩る作品群は時代を映す鏡と言われ、同時代の建築家たちが設計を通して現実社会の中でどう格闘しているのかを感じ取れる貴重な展覧会といわれ、第 38 回を迎えた今年は国内外 219 点の応募作品の中から 16 作品の 1 つとして、「かぎりなく本設にちかい仮設・・・」が入選しました。

本計画

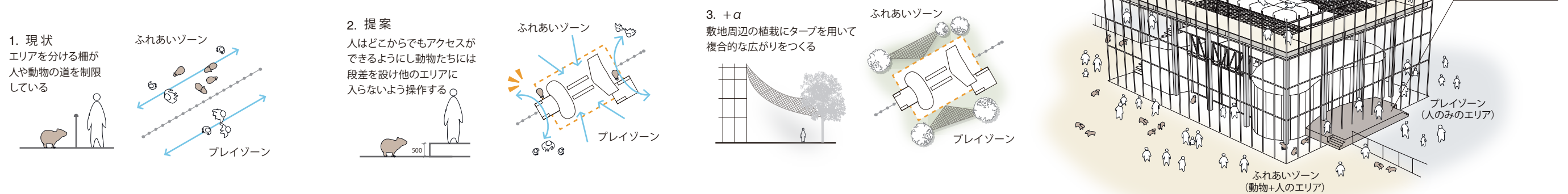
敷地は動物が暮らす広大な自然公園の一角、「人と動物が共存するカフェ」である。動物とのふれあいに求められる経験価値は、疑似海外としての「非日常」に加え、「空間の美しさ」や「何度でも通いたくなる居心地の良さ」が求められ始めている。計画地は小動物が放し飼いになっているふれあいゾーンと、公園のメイン動線であるブレイゾーンの接点に位置し、360度どこからでもアクセスできる見通しの良い立地である。計画の特質上、本事業は10年という短いライフサイクルを想定していること、また、サステナビリティの観点から「建築と仮設の間」のような造り方を着想した。敷地には2本の大きな木が静立っている。その樹木のまわりに鉄骨でフレームを組み、その中に店舗コア部の小屋を作る。周囲には仮設足場用の単管で格子状のジャングルジムを組み、さらにメッシュ素材を取付け、建築全体が木漏れ日の中にあるような計画とする。大きな木漏れ日の中で、人々は単管の遊具で遊び、動物と触れ合う子供たちをソファやハンモックで見守り、寛ぐ。また、単管は動物の居場所やアクティビティ機能を後から立体的に付加することができる。平面的に提供されていた動物たちとの触れ合いに、単管による立体性が付与されることで、より活いきとした人と動物の風景が描かれるのだ。

人と動物の関係

見える境界から ‘見えない’ 境界へ

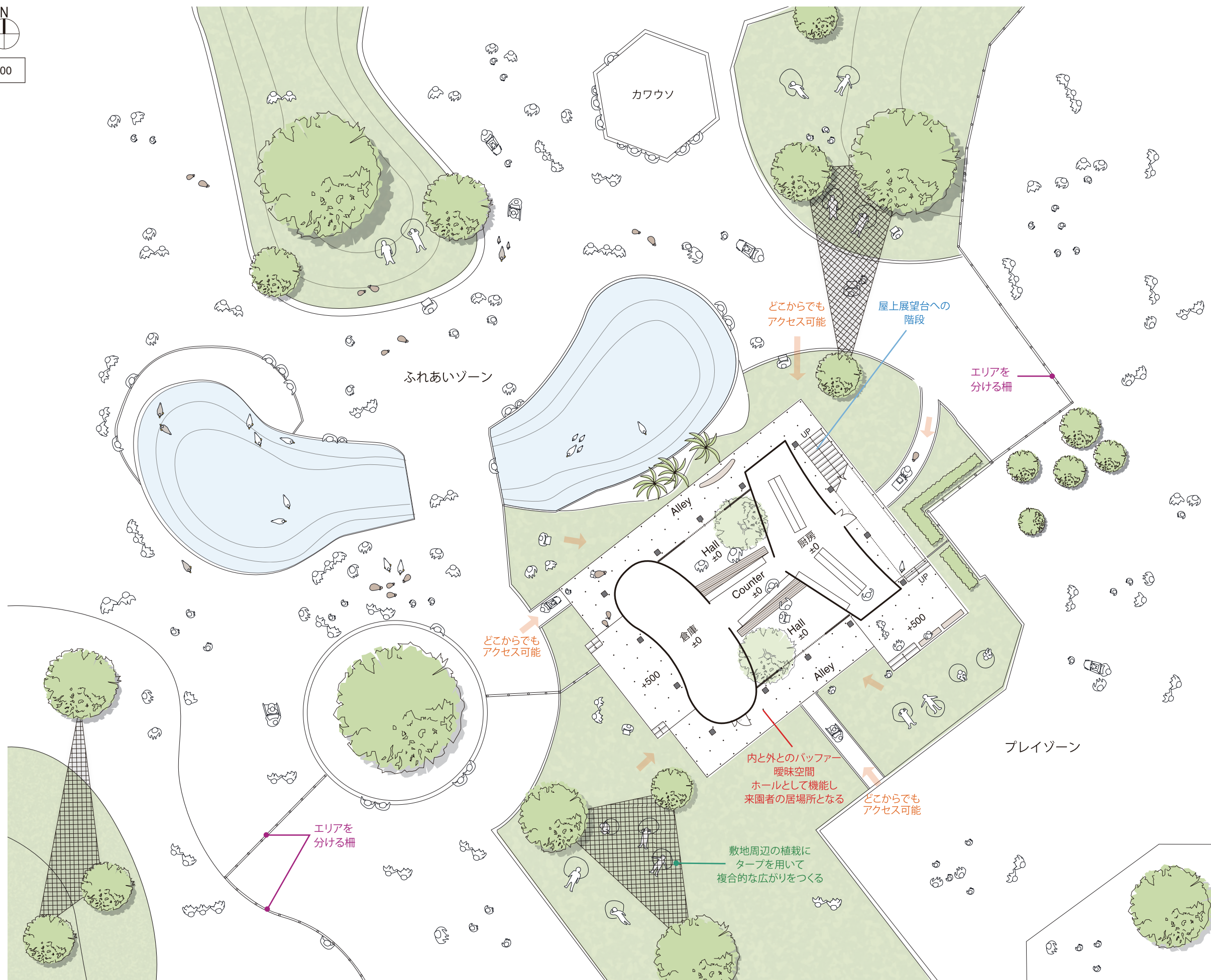


計画場所は2つのエリアが重なる場所。
人・動物・自然のと境界をあいまいにし、楽しくもくつろげる空間
をつくる。

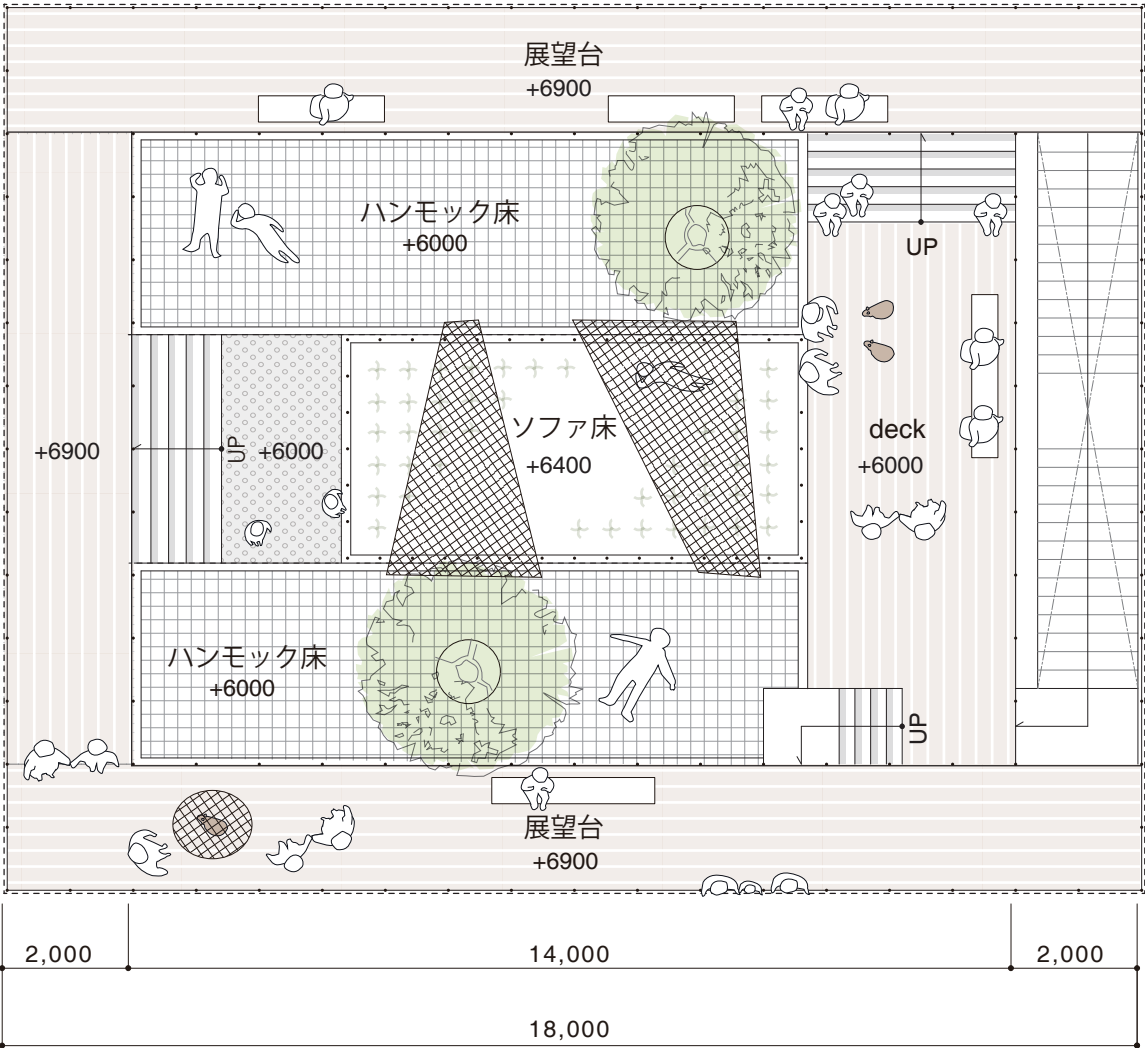




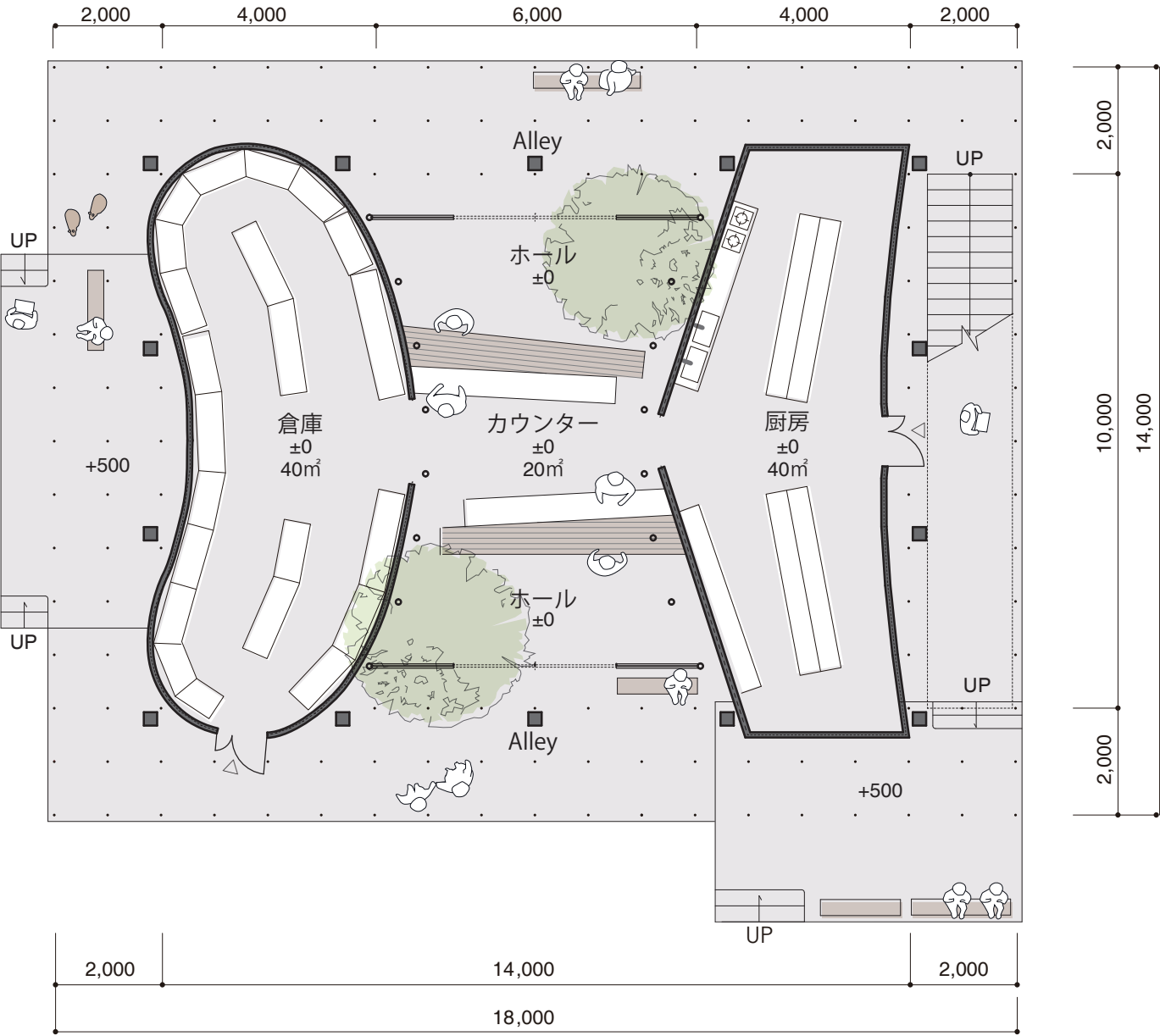
SITE PLAN 1/200



ROOF PLAN



1F PLAN



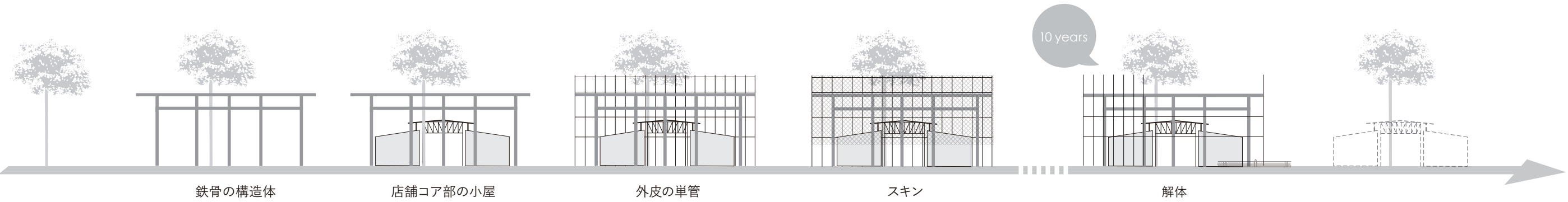
装置としての仮設

仮設という言葉を辞書で調べると「必要に応じて仮に設けること」とある。建築で仮設と言えば、災害時の仮設住宅のように緊急性が背景とする場合や、工事用の現場事務所のようにコスト重視の割り切りから生まれたあの形を思い浮かべることが多いだろう。

本計画の場合、仮設の意味するところは、緊急性を要するものでもコスト重視でもなく、短いライフサイクルとサステナビリティを前提に、人の近くに動植物を呼び込む仕掛けであり、室内空間を日射から屋内部分を守る外皮であり、劣化や使い方の変化に対応するための装置と考えている。この建築は仮設という装置を持つことで、より豊かな人と動物の関係が育まれて行く。

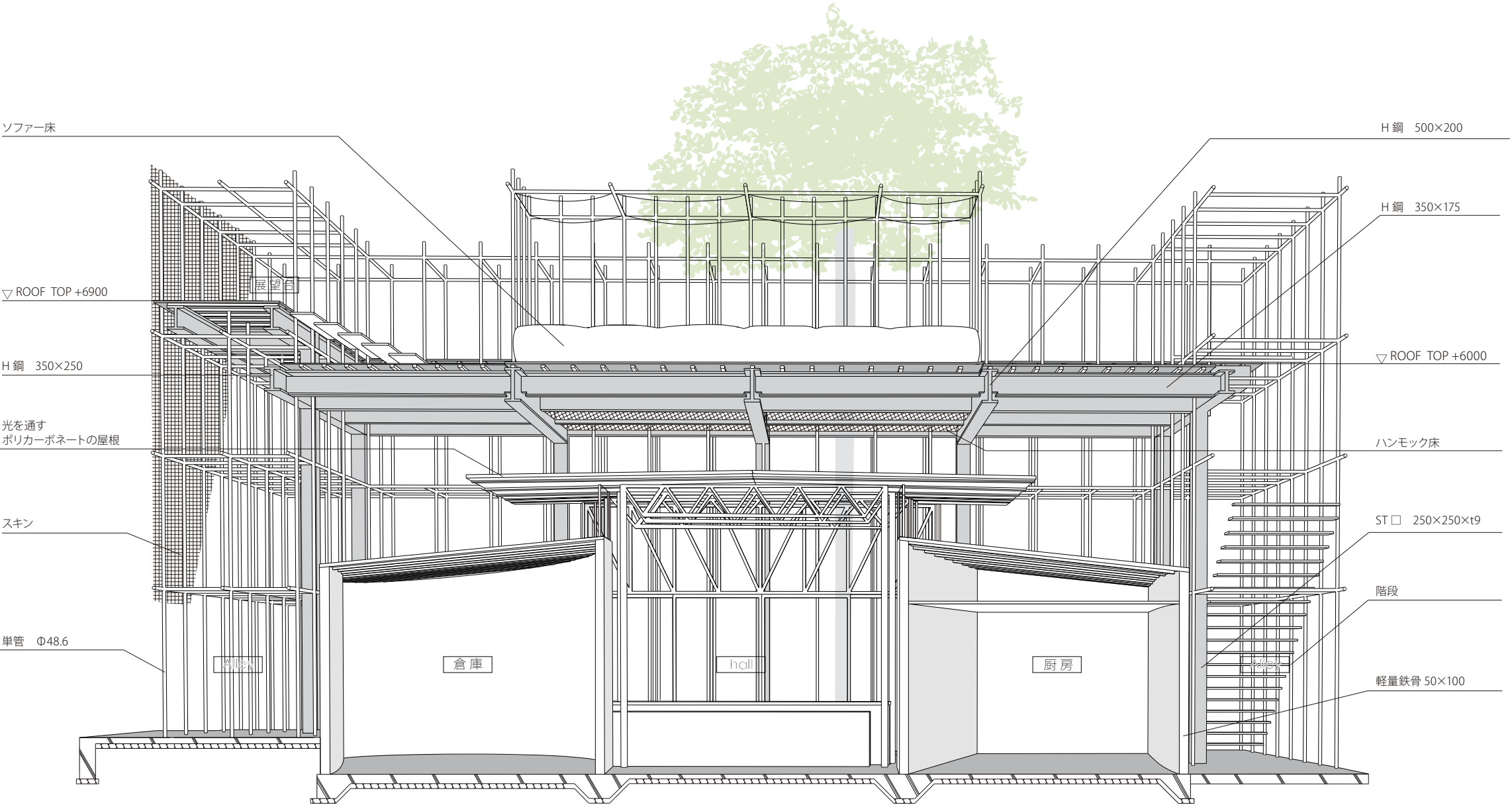
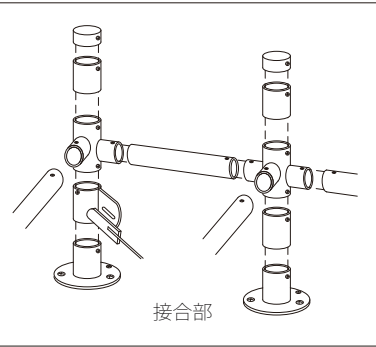
ライフサイクルの見直し

本計画は10年で解体するという、短い事業計画を前提としている。したがって、できるだけ大規模な工事を避けることを計画の重要なポイントと考えた。簡便に作って簡便に解体できるよう、鉄骨のフレームを除くと単管と平屋の小屋という、ほぼ仮設のような構成としている。建設、解体の利便性はライフサイクルコストにも好影響を与える。解体後の各建材は園内の他の場所での転用が可能となっている。



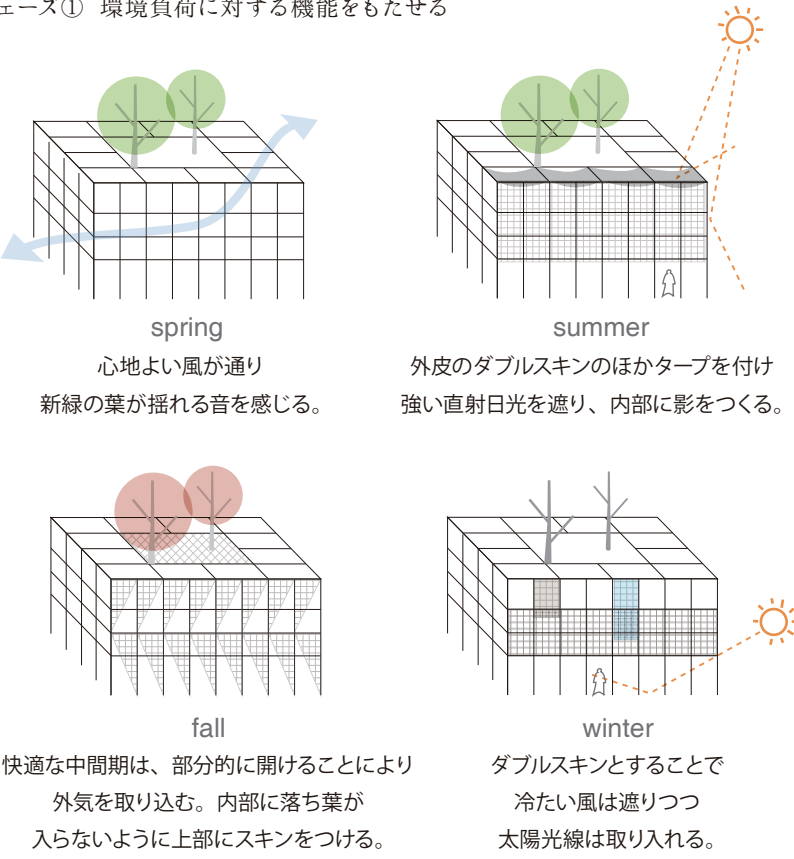
断面パース

平屋の店舗コアを鉄骨のフレームが囲い、その外周を単管のジャングルジムが覆う。組み換え可能な単管は、日射をコントロールするスキンやタープと組み合わせることで四季の変化に合わせた癒しの場を提供すると共に、遊具やガーデンファニチャーなど様々なアクティビティを誘発する。

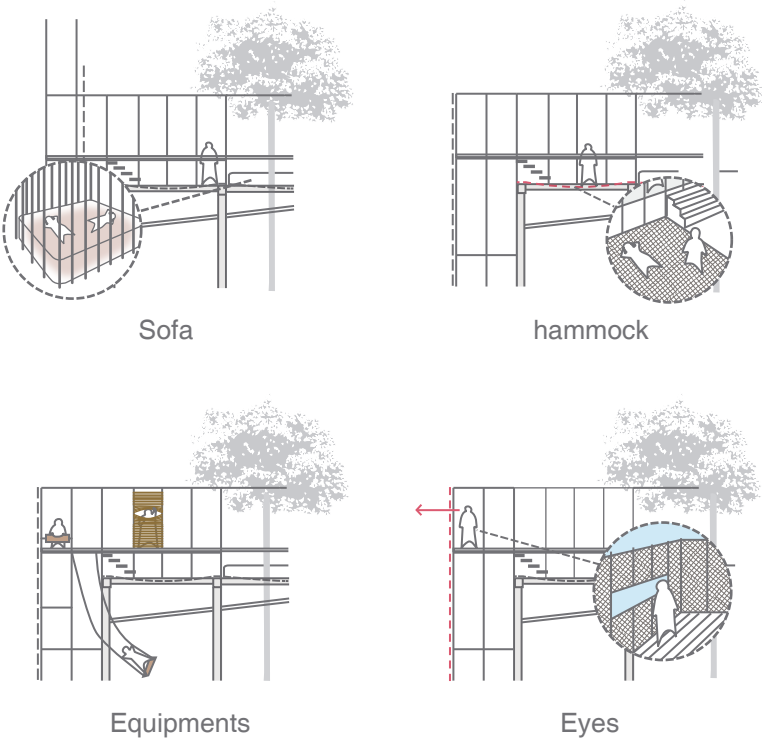


単管のジャングルジムに持たせる機能

フェーズ① 環境負荷に対する機能をもたせる



フェーズ② アクティビティ機能を付加



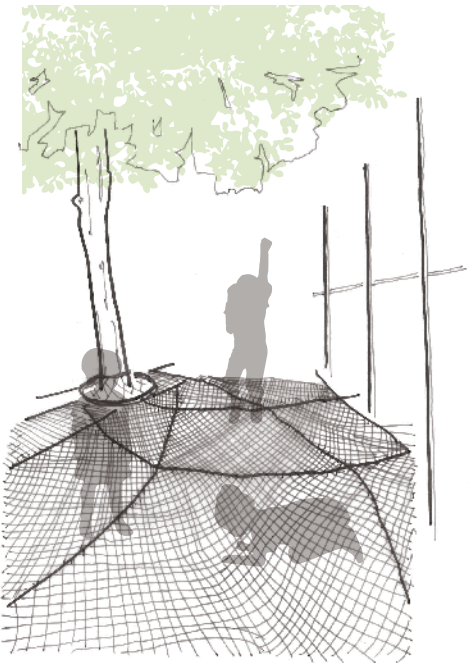
フェーズ③ フレキシブルに可変



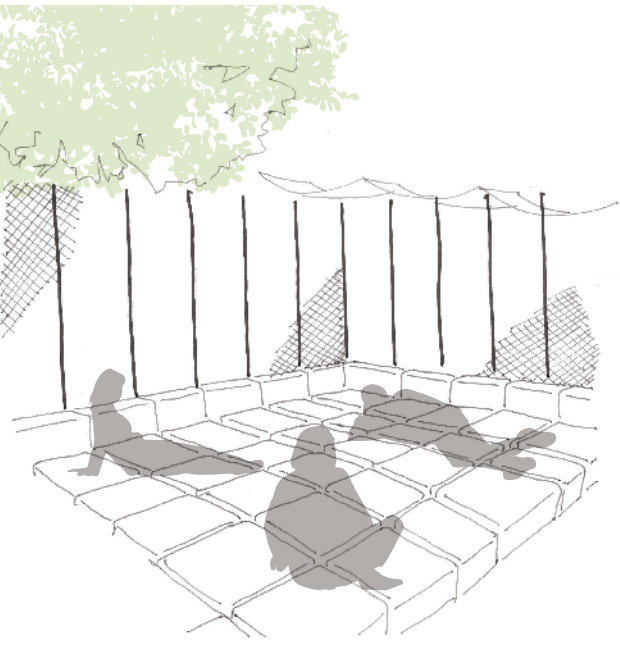
空間イメージパース



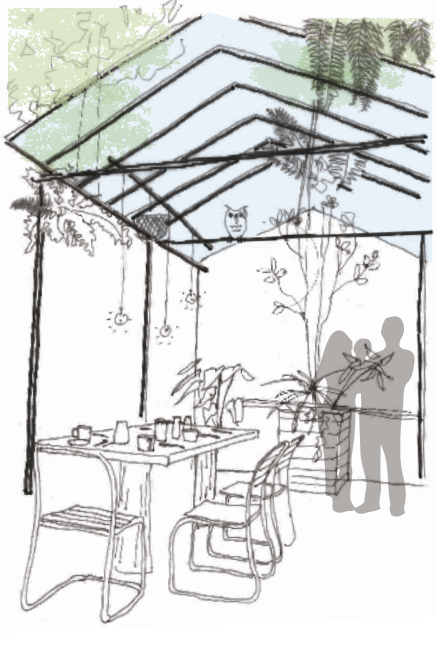
展望台



ハンモック床



ソファ床



hall



階段